

- 2012年・記録会は8月19日(日)HLG、PLGともグリーンパークです「ちびた号」大会
- 2012年・記録会は9月16日(日)HLGは吉見、PLG共にグリーンパークです

今年で4年目続くゴーヤの日陰作り。6月末に植えて7月末には見事な緑のカーテンになります。朝起きると居間の南側は緑に覆われて涼しい。7月末からゴーヤが成りはじめて、卵やベーコンと炒めると水素晴らしいビールのさかなになります。夏の終わりにはゴーヤの実が金色になり、それが緑の葉陰にチラホラ見えて美しい。さらに今年は7月には豪華な百合カサブランカが咲いてさらに素晴らしい。しかし、真っ赤な夏、老人にはこたえる夏はヒコーキも焦げる夏です。それでも飛ばしに行きたいのですから、もう立派なビョーキです。

でも暑い夏が終わると素晴らしいヒコーキの秋です。黄色い畑、広い田んぼ、風がそよぐ野原、屋外で飲むコーヒー、音もなく上がるヒコーキ、それまでのガマンですね。

- | | | |
|-------|--------------------------------|----------------|
| 記録会報告 | ①②2012/6月記録会HLG/PLG、 | ③④2012/7月記録会報告 |
| お知らせ | ⑤まったけ大会案内 | ⑥朱鷺カップ案内 |
| | ⑦FF日本選手権案内 | |
| FFサロン | ⑧やまめ工房の日記より・HLG翼型のテスト結果・B用の翼型考 | |
| | ⑨HLG野球投げ方の研究・久保 | ⑩低抵抗翼「ちびた号」・平尾 |
| 雑談天国 | ⑨朝鮮戦争を振り返る | |
| あとがき | ⑪ヒコーキ・ニュース | |

◆2012年6月記録会の報告(HLG/CLG)

6月HLG記録会報告

①……石井満・平尾

雨で1週遅れの記録会でした。道路は空いていて8時前に到着、朝飯を食ってから梅雨のまつ最中なので足場はどうか。草はスゴイが濡れてはいない様子。しかし、歩いてみるとそうは問屋が卸さないで、地面はそこら中水溜まり、特に藪の中はまるで池で長靴が必要。南側の発航地点の草はそこそこのながら地面は水溜まり、他は胸までの雑草です。これでは飛ばす気力も減退です。とすることで競技は機体回収には草こぎは必須で体力勝負の1日でした。ランチャーズ以外ではF1A、F1G、電動機、スケールと久しぶりに大勢の皆さんが顔をそろえて素晴らしい。ヒコーキは大勢でない。(平尾)

さて、肝心のHLGはもの凄い草に圧倒されて、初めから腰砕けです。まず草の方には飛ばしたくない。飛んで行ってしまうと、まず腹を決めてから回収におもむく、ふー……です。大型機の場合も回収は困難を極めるとか、なぜ・・、発信器の電波が高圧線とその電柱に乱反射して、何処にあるのかさっぱり解らない等々で、発信器があるからとよそ見をしているとアカンらしい。エライ事です。(平尾)

さて、ランチャーズ競技の方ですがいつもの事で2位。予選ではタイマーセットを間違えて2回もデサショートをやらかして結局9投して5マックス。ロータリーダンパータイマーの軸に巻きつける糸癖を嫌って1周だけ巻き付けた状態でホールドしているのですが何を考えてるのかそのまま投げってしまうボケを2回もやってしまいました。とうとう頭がいかれたようです。

実質9回投げて7回マックスですので機体ポテンシャル通りの結果と言えなくもないですがショックを受けます。フライオフでは投げ失敗で撃沈。暑い上に腰丈のブッシュを掻き分けてのハードな回収で疲労がピークに達していたのが敗因でしょう。歳なので体力不足は否めない。早朝からの練習やデサショートなどで余計な体力を使ってしまったからとも考えられますがあのタイミングでミスが出るのはやはり実力不足という事なんですね。いい勉強になりました。(以上石井満)

4月HLG記録 6月24日吉見公園、晴、27度、1～3m、60秒マックス5/10投

NO	選手名	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	合計	F 1	F 2	総計
1	野中正治	52	60	60	51	51	60	60	43	10	60	300	120		420
2	吉岡潤一郎	60	60	60	60	60						300	65/48		365
3	池田 昇	60	46	40	55	28	60	60	44	60	60	300	42/52		352
4	稲葉 元	60	43	53	60	60	44	33	09	32	60	293			293
5	三俣 豊	43	48	52	51	60	52	48	58	39	60	282			282
6	芥藤勝夫	28	60	58	58	22	32	60	34	32	32	270			270

注:フライオフは120秒マックス

6月PLG記録会報告

②……工藤

梅雨のため前日から雨が降り続いていましたが、8時前には雨もやみ曇り空で微風という好条件の中7人の選手が集まり、それぞれランチャーズカップを目指して機体調整に精を出していました。

記録会は、岡田選手が競技開始10分で5投5MAX、早々とフライオフ進出。その後を追って、吉本選手が8投目、工藤が7投目で5MAXを記録し、3人がフライオフ進出となりました。5月優勝の八木(博)選手と大江選手は機体調整不足でともに1MAXで今回は惨敗でした。

八木(喜)選手・倉田選手はMAXは出るものの、5MAXに一步届かず不完全燃焼でした。フライオフ進出の岡田選手は1投目11秒、2投目16秒とほぼ棄権。その結果、吉本選手・工藤の松戸対決となりました。1投目、工藤は36秒、吉本選手は53秒で1歩リード。2投目に工藤が57秒を記録し、逆転優勝となりました。吉本選手はコンスタントにフライオフに進出しますが、最後は気流に恵まれず、優勝から遠ざかっています。今後に期待です。(以上工藤)

5月PLG記録、6月17日、武蔵野中央公園、小雨後曇、風0m～1m 40秒マックス 5/10投

NO	選手名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	F1	合計
1	工藤 陽久	38	37	40	40	40	40	40				200	36/57	257
2	吉本 凌一	40	40	25	40	31	40	34	40			200	53/32	253
3	岡田 光正	40	40	40	40	40						200	11/16	216
4	八木喜久江	38	40	33	6	26	14	24	28	40	40	191		191
5	倉田泰蔵	21	25	30	32	31	33	40	5	6	40	176		176
6	八木 博典	5	40	27	27	39	17	32	23	17	36	174		174
7	大江 賢	28	6	5	5	30	40	32	14	23	13	153		153

◆2012年7月録会の結果(HLG/CLG)

③④

7月記録会は強風のため中止とし、8月記録会開催時に2ヶ月分を実施する。

お知らせ

■ 2012年秋季大会(松茸大会)案内

⑤

- 開催年月日 2012年9月23日(日)AM7時30分受付、競技8時45分～11時45分
- 主 催 中部フリーフライトクラブ
- 場 所 三重県鈴鹿市池田町タンボ
- 参加費 1種目2000円、中学生以下は無料。2種目のエントリーも参加費は同じ。但し、ダブル入賞時の副賞は上位成績の1つのみ。
- 種 目 ①中型混合級(小型国内級、及びミニ国際級)
②小型混合級(スパン30インチ以下、ゴム10g以下ならOK)
③HLG(A、B) //
- 競技方法等 * 中型混合級は2分マックス、5ラウンド

* 小型混合級は第1ラウンドは3回までに1分をクリアしたらOK、第2ラウンドは2回までに2分クリア、他はフライオフ。

* HLGは1分マックス10ラウンド中の上位5投を計測
気象条件によりラウンド数マックス数を変更することあり。

■その他

競技中の事故等については、参加選手各自で対応する。天候等の理由によりラウンド数を変更することがある。作業中の農家の方々には、こちらから積極的に挨拶してください。デサマには必ず火縄落下防止装置をつけてください。

■連絡先

中型吉川強、佐藤宏彦、吉田潤、小型竹内栄重、鈴木勝、HLG掛山吉行、

■第2回HLG競技会(朱鷺カップ)案内

⑥

■開催年月日: 2012年10月14日(日)午前8時受付開始、8時30分競技開始、1時終了

■主催: 新潟FFC

■場所: 新潟市笠巻たんぼ(4月のフリーフライト国際級競技会開催地)

■参加費: 参加費2000円、2種目+1000円、子供は無料

■種目: ①HLG-A(手投げグライダー)

②HLG-B(手投げグライダー)

■競技方法等: ①9時~11時30分の間に60秒MAXで10回飛行、うち5回の合計。

②11時30分から決勝飛行

③機体数は5機まで受付で確認。個別識別記号(名前など)を記入のこと。

④詳細な競技の方法はミーティングで発表します。

⑤DTの火縄、線香等落下防止機構を装備していること(機体検査あり)

⑥④競技中の事故等は競技者の自己責任でお願いいたします。

⑥風向き等で競技の中断の指示には直ちに飛行を停止すること。

HLG-A 翼幅360mm以上(翼長、重量制限なし)

HLG-B 翼幅160mm以上360mm以下(紙HLGも可能)

■その他: 笠巻たんぼから5kmほどの所にビジネス旅館「アーバンIN黒崎」があり、1泊5千円以内(4800円?)です。会場には駐車場、トイレあり。

■注意事項: 当日受付等参加者同伴者をご協力ください。現地にゴミ箱はないので各自持ち帰りください。競技スポットでは喫煙。特に吸殻やゴミの投げ捨て厳禁。

■大会役員等: 大会委員長 細海 修(新潟FFC)、大会競技委員長 笠井修一(新潟FFC)
競技委員 細海(兄)、吉田利徳、

■平成24年度模型航空FF・F1A, B, C日本選手権要綱

⑦

主催 日本模型航空連盟 日本航空協会公認

期日 平成24(2012)年11月2日(金)、3日(土)、4日(日)

会場 千葉県旭市干潟町万歳

種目 フリーフライト F1A, F1B, F1C

規定 FAI スポーツ規定に準拠

参加資格 日本国籍を有する選手権期間中有効の模型飛行士登録者

役員 選手権委員長・日本模型航空連盟会長 落合一夫、競技委員長 和田光信、

競技副委員長 坂巻敏雄(A担当)、田久保潤一(B担当) 西沢実(C担当)

陪審員 日本模型航空連盟副会長 吉岡靖夫 他に競技役員は各会員

申込方法 所定の申込書(郵便振替用紙)に必要事項を記入し期日までに参加費を振り込む
専用の振替用紙が入手できない時は郵便局で振替用紙を使用する。

振替口座 00190-3-316814、納入した参加費宿泊費は返却しない。

締切日 平成24年(2012年)9月7日(金)(消印有効)

参加費 18,000円(1種目)

宿泊等 斡旋する宿舎	宿泊場所は自由、但し11月2日の受付・開会式・ミーティングに出席する。 のさか望洋荘、〒289-3181 千葉県匝瑳市野手 17147-10、0479-67-3511 参加申込書に宿舎の斡旋の要否について記載すること、(1泊につき11月2日は6,100円、3日は6,600円)申込用紙に、「宿泊費 12,700円」を記載すること。宿泊費は申込後のキャンセルは不可。宿舎での夕食は宿泊費に含まれる。
同 伴 者	選手と同様同伴者の宿泊を斡旋する。(1泊11月2日は6,100円、3日は600円)、 申込用紙に宿泊費 12,700円」を記載する。宿泊日の夕食は宿泊費に含まれる (朝、昼食は含まない)。同伴者の宿泊斡旋も(1泊円)申込用紙に記載の事
参加受理	参加申込をした会員には受理書を送付する。選手は受付時間内に本部(宿舎)に 参加受理書、機体仕様書を提出すること。
受 付	11月2日(木)16時～17時30分の時間内に宿舎本部に必要書類を提出する。 都合により時間内到着が出来ない場合は予め連絡する。また、下記機体検査等を 希望する選手は受付時にその旨申し出る。
機 体 検 査	主催者は機体仕様書に基づき、機体の仕様と模型飛行士登録番号を確認する。 原則として競技前の機体検査は行わない。別途F1Aの曳航索、F1Bのゴム重量は 検査を行うことがある。また、選手が希望した場合は機体検査を行う。但し、競技中 随時抜取り検査を行う。不合格の場合、それ以前の記録は全て無効となる。
選手の責務	1. 選手は他種目の役員をする。不可能な場合は代理人を立て参加申込書に記入 する。役員の仕事をした場合、および本要綱に正当な理由なく違反した場合は 当該選手の競技記録の一部または全部を取り消すことがある。 2. 全ての異議申立は競技委員長に文書で行う。但し競技中に計時員や役員の決 定への異議や、競技中に発生した損失や不法行為に対する異議で速やかな処 理が必要な場合は、口頭で競技委員長に行うことが出来る。全ての異議には供 託金5000円を添える。供託金は異議が認められた場合は返却する。 3. 機体回収に4輪車の使用禁止。使用した時は当該ラウンドの記録を抹消する。
競 技 方 法	1. 競技は2012年有効のFAIスポーツ規定に準拠し公式飛行と決勝飛行を行い 選手権者及び順位を決定。天候等により競技を延期又は中止する事がある。 2. 今年度日本選手権競技順序。11月3日にF1B、4日にF1A&F1Cを行う。 3. 競技を開始した場合は原則として当日中に競技を終了させる。 4. 表彰式は11月4日(日)競技終了後に行う。
損 害 賠 償	人畜、土地、建物その他の物件に対し競技その他により損害を与え賠償が必要な 場合は、当該選手が全額を負担する。
日 程	11月2日(金)16～17時受付、17時半開会式およびミーティング、18時～夕食、 11月3日(土)F1Bの競技7:00-13:55、FO1-14:30～ FO2-15:10～ 11月4日(日)F1ACの競技7:00-13:55、FO1-14:30～FO2-15:10～、 競技終了後閉会式、参考 日の出 6:04 / 日の入り 16:42
連 絡 先	FF委員会又は各クラブ。FF委員会事務局 田久保潤一 090-3227-1744 (携帯) FF委員会委員長 和田光信 090-3136-4276 (携帯)

FF文化サロン

●やまめ工房の日記より (HLG特集)

⑧……石井 満

1. 様々なHLG翼型をテストした中間報告 (2012-07-18)

昨年来主翼の表面の仕上げ程度や凹みについて様々な実験を行ってきました。正確な評価はできませんが今現在感じて事をメモしておきます。

①、翼上面凹み翼(ししゃも翼)

カテ4、1mスパン100秒性能の機体で10秒ほどタイムが落ちる。

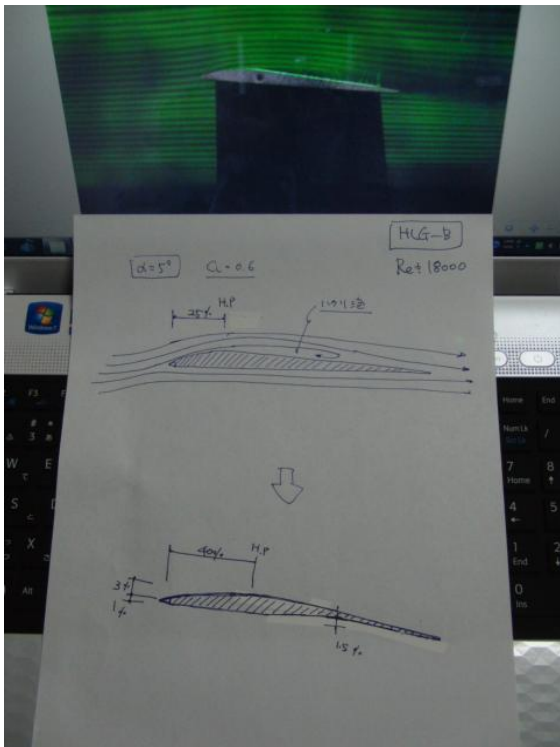
小型の機体では時折性能が良い場合があったが再現性が乏しく原因は不明。

小型機でCLの小さな領域で飛ぶ機体には効果が期待できる可能性が残る。
軽量化には貢献できるが強度面で不利と成るため現状としては採用するメリット無し

- ② 全面ツルピカ仕上げ
ツルピカ仕上げによりかなりの高度増が期待できる。
特にCLGでは1割以上の高度増は確実。
滑空は速くなり滑空比も改善する。ただし沈下率は同等か幾分悪くなる印象。
カテ4では高度増のメリットが大きく10秒程度のタイムアップが期待できる。
- ③ 前縁乱流コブコブ
失速域での安定性が若干良くなる事で屋外機で頂点失速傾向を改善する効果が有る。
上昇抵抗は幾らか増えるが高度減は2m程度。
定常滑空は幾分悪くなる印象。
したがって安定性を重視する屋外機にのみ採用できる。
ただし前縁上面の丸みを強くした翼型に比べると粘る度合いは低い。
最近では採用していない。
- ④ 後縁側乱流コブコブ
上昇後半の空気抵抗を減らす目的で現在テスト続行中。
効果は幾らか期待できる印象。
カテ4機体で3機ほどテスト中だがタイムは僅かに伸びているようだ。
僅かな違いなのでドームで投げ比べてみないと判断できないだろう。
- ⑤ ぎざぎざ後縁
滑空時の後流の整流効果により抵抗が減るのを期待してテスト中。
カテ4機体でギザギザに切ったフィルムを後縁下面に飛び出す形で貼り付けている。
高速時のフラッターが懸念されるが天候に恵まれずまだテスト実施出来ていない。
- ⑥ 上面ハイポイントの後ろ側に不規則凹み
上面の30~60%位置に楕円状の凹みをスパン方向に並べる。
剥離泡を3次的に起こし再付着を強める効果を期待。
まだテスト出来ていないので評価はまだ先。
- ⑦ 空気湿度の影響
湿度が高いと空気密度が下がる為性能が悪くなると考えられてきたが本当かどうか不明。
湿度が高いと動粘性係数が大幅に小さくなるという情報もあり空気の流れ方に影響が及ぶ。
湿度が高いほど性能が上がる可能性が有る。
現在継続観察中です。
- ⑧ YA翼型のスパン依存性
厚翼でCLの高い滑空を得意とする翼型、スパン60cm以上の機体では強度面で有利。
空力的性能は厚翼にも係わらず抵抗が小さく性能は悪くない。
従って強度を重視する大型機体ではYA翼型有利。
一方スパン40cm未満の機体では性能が発揮できないようだ。
従来の薄翼の方が性能が良い印象。
風洞試験ではYA翼型有利の結果が出ているが実際の印象とは逆になる。原因は不明。Bクラス(スパン360)用として5%厚YA翼型をテスト中。
このサイズになると翼型の性能は大きなウェイトを持たないようだ。

2. HLG-Bサイズにこんな翼型はどうか

HLG-Bサイズの翼型を考察。YA翼型はどうもBサイズとは相性が良くない。滑空のレイノルズ数は15000~18000ぐらい。スパンが360mmと小さいのでおのずとアスペクトレシオは小さい主翼平面形。従ってCLが大きいと誘導抵抗が大きくなりすぎて効率が悪い。CL=0.6ぐらいの滑空で効率の良い翼型が求められます。一方失速余裕の点ではなるべく失速角度を遅らせた。風洞試験の可視化写真を見ながら各迎角に於ける剥離泡の位置や規模などをチェックしながらYA翼型とは違った発想で翼型を考えます。



① 前縁を鋭い鋭角にすることで前縁剥離泡の効果を使って失速を遅らせます。YA翼型の前縁立ち上がり角度は45° ぐらいありますが半分以下の20° ぐらいに薄く尖らせます。

② CL=0.6ぐらいの剥離泡の位置はハイポイントから70%位置ぐらいまで。ハイポイントを40%ぐらいまで下げて剥離域を狭める事で抵抗を減らす作戦。

③ 下面は軽いアンダーキャンバーを付けて抵抗を増やさずに揚力を上げる。

翼型は写真のような形になりました。どこかで見たような形ですね。大昔「TAMA翼」と呼ばれていた高速型の翼型に良く似ています。薄翼でハイポイントが後退、70%位置ぐらいからフラップが下がった翼型でした。高速滑空でも滑空比を上げて低沈下を狙った翼型だと記憶しています。大昔、山崎さんが好んで使ったと言われるハイポイントを後退させた翼型にも似ている気がします。いずれにしても高速型であることは間違いなさそうです。今度作るBサイズで一度テストしてみようと思います。

●野球投げ小型機の高度を得る投げ方の研究

⑨……久保



普通の野球投げの指の位置



人差指第二関節に指を引っ掛けている所

暑い日が続いておりますが皆さんお元気で模型飛行機活動していらっしゃいますでしょうか？久保は暑さで冬眠ならぬ夏眠中？です。ランチャーズ掲示板に平尾さんがチビタ号の投げ方を工夫しているという記事を見てふと思い出しました。

小型、野球投げHLGで以前に私がちょこっと研究した投げ方です。その後、スランプとなり、やる気無くしてこの投げ方忘れていました。普通の野球投げの指の位置はこの左上の写真の様に人差し指のほぼ、指紋の真ん中辺りで、主翼の指掛けを押し出す感じですよ？

さて、次に写真左下の様に指の引っ掛ける位置を下げて行くとうなるのでしょうか？普通に投げると多分機体は真上方向にすっぽ抜けの感じで飛んでいくはずですよ。

理由は、機体の迎角が極端に大きくなるからです。この指の位置で、少しずつ機体を投げる時のリリースポイントを遅らせて行きます。

要するに、今まで上向きに投げていた機体を、序々に水平方向、もしくはやや水平より僅かに下に向けて投げるのです。いきなり地面に向けて投げるのは避けましょう。本当に地面に激突したら大変だからです。少しずつ、様子を見ながら、場合によっては、指の引っ掛ける位置も上下に微調整します。この時、親指と中指で機体の胴体を持つ位置はいつも一定にする必要があります。

この位置を変えると先ほどの指掛け位置の微調整が狂ってしまうからです。リリースポイントを遅らせる事で、ランチャング時の機体の初速が上がるのです。そして腕を最後まで振り抜く感じで投げます。この投げ方により、普通の投げ方よりも長い時間、機体が加速されてからリリースされる事により機体の初速が上がるのです。出来れば全身を使って体が前にのめり込むような感じで投げます。

私の場合、投げ終わった時の視線は機体の飛んでいく方向を見ておらず地面を見ている感じになります。自然にそうなってしまいます。視線が機体から離れてしまうのが難点かもしれません。

このまま普通に投げれば、機体は真上にすっぽ抜けて飛んでいってしまうが・・・この実験で、私の場合は、小型のスィーペッターが、今までの1.2~1.3倍の高度に上がることに成功しました。

この発想は、ランチャーズの先輩が、機体を地面に向けて投げているのに、相当の高度を取っていた事をヒントにしました。それでは、8月の小型機及び、チビタ号大会頑張ってください。

●低抵抗翼採用・空飛ぶ「ちびた号」

⑩…………平尾

1. ちびた号の誕生

ランチャーズでは28年ほど前から、人集めのためにグリーンパークに行くようになりました。公園では紙飛行機を飛ばしていましたが、大きさは30cmくらいで、重量30g前後でした。それを参考に公園で飛ばすHLGの危険防止を考えて機体重量を14g以下としました。この重さだと紙よりはるかに軽く、大きさもほぼ似たようになります。しかし、この規定が出来たばかりの頃は、各選手共少しでも大きくと、室内機のような機体を作っていました。ところがスパン40cmもある低翼面荷重HLGは、滑空性能はイイのですが乱気流に弱いのです。そのため無風時は有利ですが、突然風が吹くとほぼ全滅します。そこで屋外での飛行安定を考えて、しだいに小型になりました。各選手各様の機体の中で、



グリーンパークにピッタリと思えたのが田中晋選手の「ちびた号」でした。「ちびた号」の原設計は1985年(昭和60年)ですから、何と27年も前になります。小さいので力が入らず飛ばすのが難しいので、公園でも中々なりません。ここが素晴らしいのです。まさに公園を飛ぶ「ちびた号」なのです。

2. 老人用ちびた

最近ランチャーズも高齢化して、60歳代はともかく古希を過ぎるとさすがに野球投げHLGはダメで、「ちびた号」も全く上がりません。そこで対策として振り投げちびたを作りましたが、これも投げで左に巻き込んで高度が取れません。しかし、何にもしないでの惨敗は悔しいので、野球

投げの角度を低くした相沢怪鳥の水平投げをやってみました。ところが意外や意外、これが思ったより高度を取るのです。そこで、これまでの「ちびた号」がボロボロになってきた事でもあるし、ひよっとすると行けるかなと思って、しばらくぶりに高齢者対策の「ちびた号」を作りました。

新作「ちびた号」は当然ながら最新の技術を盛りこみました、と言っても①石井満式低抵抗翼断面の採用、②胴はカーボンパイプ採用と言った程度で大したことありません。翼厚は4mmとし、翼断面の前縁削ぎ上げ(ここがミソ)を1.5mm(約40%)としました。このままでは滑空が悪くなるので下面フラップを0.5mmとほんの少し付け、胴体は桧とカーボンパイプを繋ぎました。他は原設計のママで尾翼厚は全てバルサ1mm、デサはクールチューブによる重りストンタイプ、重芯位置53%、完成重量は田中さんみたいに10.5gなんてのはとても無理で12.5g、翼面荷重約7gとなりました。

まず1機作ってテストをしての結果は驚きでした。遙か彼方の水平線を狙って投げると、古希コキの肩でグーンと驚くほど上昇するのです。在来のHLG機と比べて5mは高く上がるのです。私の肩でもタイム25秒は堅いので、こいつは勝負になりそうです。当然ながら豪腕の選手ならもっと記録がのびて、30秒超も可能でしょう。

2. 低抵抗翼のミソ

さて、今度の機体はこれまでのHLG翼断面の機体とどう違うのか。これこそ正に石井満氏開発の低抵抗翼の効果なのです。振投げ機ですと初速が大きいので、それ程の効果が感じられないのですが、野球投げちびた号は小型なので投げにくいので、少しでも機体の抵抗が減ると肩の弱ってきた選手には正に「魔法の効果」になるのでしょうか。多分低抵抗翼のおかげで投げでの初速が持続して、そのまま上昇に入る感じですかね。在来HLG翼機と比べるとプラス5m高く上がります。このため、在来の「公園を飛ぶちびた号」から、「空飛ぶちびた号」に大変身します。

低抵抗翼のミソは、主翼前縁の大きな削ぎ揚げにあります。今回は削ぎ上げ率を40%と最大の値にしました。これ以上の削ぎ上げは50%になるので、ここまでやるのはFF翼には無謀でしょう。前縁を削ぎ下した分、滞空性能は落ちるのでほんの少し翼下面に凹み(0.5mm)付けています。小型機なのであちこちいじってもさほど耐空性能には差がでないで、この程度で十分でしょう。こんな翼断面図で浮くのか・・・、それが浮くんですよ。

前縁削ぎ上げの正確な作り方ですが、2mm角前縁桧材を接着する時にバルサ4mm厚の板の下面から0.5mm上の位置に印を付けて、そこに瞬間で接着します。そして280#のサンドペーパーで、2mm角桧材の真ん中(桧下面から1mm)まで丁寧に斜めに削ります。下面カーブの奥行きは10mm程度です。ナイフを使うと桧に逆目があったりすると裂けるので気をつけましょう。全体がほぼ削り上がったら定規を当てて、スパン全域が揃っているかどうか確認してください。ほぼOKなら400#程度のサンドペーパーで横方向に仕上げてください。次に翼下面の凹みですが、丸面を付けたバルサ板にサンドペーパーを貼り付けたもので削ります。面倒くさがりの方はボール紙にサンドペーパー貼り付けて、削る面が曲面になるように真ん中を押さえながら削ってください。下面の削りぐわいも定規を当てて横からの光の入りを見ながら、おおよそ凹みが0.5mmになるようにそろえます。ほぼそろったら、サンドペーパーの400#程度で横方向(スパン方向)に全体の凹みをそろえてください。翼下面がほぼ出来たら上面を削ります。後は皆さんがいつもやっている通りの作り方で結構です。私は軽いバルサを使う時は塗料を吸うので、翼の上面も出来上がったところで2回ほどドーブを塗ります。この後上反角用の切れ目を入れる等々します。図面別添

★ 雑談天国

★ 朝鮮戦争を振り返る

⑪・・・平尾

朝鮮戦争は我が国近辺で行われた最後の戦争である。しかし、この戦争は第2次大戦終了後すぐ行われたので、皆さん、案外その実態を知らないと思う。この時代、世界各国共戦後の復興に懸命でした。当時は今と違って、まだ共産主義は理想の国家体制の1つとして魅力的を放っていたので、世界は自由主義諸国と共産国に2分されてドギツイ勢力争いのまっ最中であった。今思えば、この時代に北朝鮮が南北統一を急いで、戦争を仕掛ける恐れは十二分に推測出来た筈である。当然ながら、アメリカ情報部は朝鮮戦争勃発を懸念していた。その予想に違わず北朝鮮の金日成はわずか2ヶ月で勝負を付けようと南朝鮮に侵攻し、もう少して成功するところだったのである。

1. 金日成の企み

1950年(昭和25年)頃の世界は、民主主義国と共産主義国の覇権争いで不安定だった。第2次世界大戦が終わって間もないこの時期に、韓国の李承晩も北朝鮮の金日成も朝鮮統一をもくろんでいたのである。そして先手をうったのは金日成(当時38才)だった。当然ながらアメリカは朝鮮動乱を予測していたにもかかわらず、朝鮮半島についてマッカーサーは何ら手を打ていなかった。

まず、金日成はソ連に侵攻の許可を得ようと、スターリン(当時72才)を熱心にくどいた。ところが、第二次世界大戦で深手を負ったソ連はアメリカと事をかまえる気はなかった。侵攻すればアメリカが必ず出てくるし、勝ち目ないとスターリンは読んだのである。そこで金日成は中国の毛沢東(当時58才)をくどいて、軍事援助を約束させた。その後、スターリンもやりたければ勝手に消極的に侵攻を許可した。北朝鮮の侵攻は無謀に見えるが、①奇襲すれば、アメリカが参戦する前に朝鮮半島を制圧できる。②早期に制圧すれば内政問題と言い張れる。③アメリカが参戦しても中国が助けてくれる。④中国が負けたらソ連が助けてくれる。⑤最悪全面戦争になるが、アメリカは核兵器を使う度胸は

ない、等々が金日成の読みがあった。

朝鮮戦争が起きると、南北鮮軍はお互いに惨殺を繰り返し全朝鮮人民の犠牲は大きかった。南鮮は国内の共産主義者を殺し、北鮮は右翼市民を惨殺した。アメリカ軍捕虜も惨殺されたが、この戦争での犠牲者は南北鮮合わせて約400万人に達し、これは朝鮮総人口の20%にあたる。つまり国民の5人に1人が殺されたのである。

アメリカ国防総省によればアメリカ軍は戦死者3万3686人、戦闘以外での死者は2830人、戦闘中行方不明は8176人にのぼる。西側の推定によれば中国人民志願軍は10万から150万人(多くの推計では約40万人)、人民解放軍は21万4000から52万人(多くの推計では50万人の死者)をそれぞれ出している。また約24万5000から41万5000人にのぼる韓国側一般市民の犠牲が明らかにされ、戦争中の市民の犠牲は150万から300万(多くの推計では約200万)と見積もられている。

2. 朝鮮戦争勃発

1950(昭和25年)年6月25日早朝、南北朝鮮を分かち北緯38度線で突如、轟音がとどろいた。

北朝鮮軍が韓国に向け砲撃を開始したのである。砲撃が終わると240輛の戦車部隊を先頭に、北朝鮮軍が38度線を突破した。その後、ピョンヤン放送の気合いの入った一報が世界に発せられた。

「我々はアメリカ帝国主義の傀儡・李承晩政権から、韓国人民を解放する」。

この電光石火の大攻勢に対し韓国側はなすすべがなかった。勘違い、誤報、意図的な偽情報が韓国中を飛びかい、驚くことに、この侵攻が大統領の李承晩に知らされたのは、砲撃開始から数時間たった後であった。この間、北朝鮮軍は恐ろしいスピードで南下をつづけた。開城はたった数時間で陥落。その60km南は首都ソウルだ。防衛ラインは次々と突破され、韓国軍はひたすら敗走を続けた。韓国軍は総兵力10万、戦車ゼロ、大砲91門。一方の北朝鮮軍は総兵力20万、戦車240両、大砲552門と兵力で圧倒した。しかも、北朝鮮の主力戦車は第二次世界大戦の傑作、ソ連のT34である。韓国軍の火砲は、T34の分厚い装甲を撃ち抜くことができなかった。

6月27日、アメリカ大統領トルーマンが主導し、国連安保理が開催され北朝鮮非難決議が採択された。その間も北朝鮮軍の侵攻は続き、韓国政府はソウルを捨て33km南方の水原に首都を移した。

トルーマン大統領は韓国への支援を決定し、矢継ぎ早に命令を発した。在日米軍を釜山(プサン)に派遣し、海軍を韓国海域に出動させた。さらに台湾を中国から守るため、第7艦隊を派遣した。

そして、この作戦のすべての指揮権を東京にいたマッカーサー元帥(当時70才)に与えた。6月28日、韓国の将兵と市民が首都ソウルを脱出し、この日の夕方、北朝鮮軍はソウルを完全制圧した。

6月29日、マッカーサーは専用機で東京から朝鮮半島に飛んで、車で最前線を視察した。その結果マッカーサーは韓国軍主導では勝ち目はないと判断し、直ちにアメリカ本国に地上軍の派遣を要請した。しかし、ソ連側が「朝鮮の内政問題に外国が介入すべきではない」と主張したため、ホワイトハウスが躊躇した。このままでは韓国はもたないとマッカーサーは確信し、即本国に爆撃の許可を申請し、即回答を待たず爆撃を敢行した。

このような超法規的な決断は名将に共通する。司令官がマッカーサーでなかったら、1950年8月末に戦争が終わっていた可能性がある。7月7日、アメリカをはじめ、日本占領のために西日本に駐留していたイギリスやオーストラリア、ニュージーランドなどのイギリス連邦占領軍を含むイギリス連邦諸国、さらにタイ王国やコロンビア、ベルギーなども加わった16ヶ国による国連軍が編成された。

米軍はソウルから120km南方の大田から北上を試みたが失敗、逆に押し返されてしまう。その後国連軍も合流したが、7月中頃までに兵数は半減大田の維持すら困難になった。そして半島最南部の釜山周辺に追い込まれる有様だった。しかし、アメリカ軍の将軍たちはこう宣言した「朝鮮半島からの撤退はありえない。我々は最後まで戦う」。一方、北朝鮮側はあまりの快進撃の結果、兵站(へいたん)が伸びきっていたのである。

マッカーサーは9月15日、戦況を一転させる有名な奇襲、ソウル近郊の「仁川上陸」を断行する。

兵站線の真ん中・仁川を国連・韓国軍が奇襲した。危険な敵前上陸を任務とするアメリカ海兵隊を先頭に7万人が上陸に成功。このとき、M26重戦車をはじめ重火器が大量に持ち込まれた。この国連軍の上陸成功で、北朝鮮軍は国連・韓国軍に挟撃され算を乱して逃走した。9月28日、国連・韓国軍はソウルを奪還しソウルに入城した。10月1日、韓国軍は単独で38度線を突破、つづいて国連軍も北上した。10月20日、先鋒の韓国軍は鴨緑江(おうりょっこう)に達した。危機感をつのらせた中

国は即参戦を決定し、20万の兵力を投入し猛反撃が始まった。中国の参戦で戦局は停滞する。

業を煮やしたマッカーサーは中国本土への攻撃と、原子爆弾の使用を提案した。しかし、1951年4月全面核戦争を恐れたトルーマン大統領はマッカーサー総司令官を解任する。そして1953年7月板門店で、北朝鮮、中国、国連の3軍の間で休戦協定が結ばれた。

当初北朝鮮軍は南鮮の民衆蜂起を期待していたが、朝鮮人民軍は侵攻した地域で民衆に対し虐殺・粛清などを行ったため、民衆蜂起は起きなかった。また、ソウル会戦において猛攻を続けていたはずの北朝鮮軍は、突如として進軍を3日間停止するなど、謎の行動を取った。この時間を使って総崩れとなっていた韓国軍は体制を立て直した。9月15日アメリカ軍が仁川上陸作戦を開始すると、北朝鮮軍は一転して敗走を重ねるようになった。開戦直後の7月4日に朝鮮人民軍最高司令官に就任していた金日成は、自分の家族を疎開させた後、10月1日には部下に戦争の指揮を任せ、何と自らも逃亡したしていたのである。このため南側では、金日成が行方不明になったので「平壤で戦死してしまった」とか「事故死して影武者が立てられた」とする噂が立ったが、1953年6月の休戦後、何食わぬ顔で平壤に帰還した。



ヤーク9



P51ムスタング

3. 空の戦い

韓国空軍は練習機のみで保有戦闘機なし、一方北朝鮮はイリューシンII-10やアントノフAn-2(木製の複葉機)などのソ連製を中心とした航空機211機を有していた。しかし、当初から北朝鮮は制空権を持っていなかった。開戦当時はイリューシンII-10、ヤーク9とF4Uコルセア、F51ムスタング、ホーカーシーファイアーなどのレシプロ機同士の戦いであった。6月27日北朝鮮軍のヤーク戦闘機が金浦飛行場を攻撃したが、迎撃したF82GTツインムスタングが撃墜している。29日朝になるとマッカーサーは22機のB-29爆撃機を嘉手納から発進させた。さらに7月3日早朝には朝鮮海域へ艦上機を載せた空母が到着した。そして第82飛行隊のファイアフライ12機とシーフユリー9機が38度線に近い海州に向け飛び立ち、続いてコルセア16機とAD-4スカイレーダー12機が北朝鮮の首都、平壤を目指して発進を開始、少し時間をおいてF9Fパンサーが目標に向かった。当初空からの攻撃はあまり効果的ではなかったが、北朝鮮に心理的に大きなダメージを与えた。この後ソ連の最新鋭ジェット戦闘機のMiG-15が投入され、当初は国連軍のF4U、P-51やホーカーシーフユリーなどのレシプロ戦闘機を圧倒した。さらに旧式化していたジェット戦闘機F-80やF-84、グロースター・ミーティアに対しても有利に戦いを進めて、さらにB-29やB-50爆撃機の撃墜率を高めた。

朝鮮戦争の初期のアメリカ軍の主役は間違いなくF4Uコルセアだ。海軍、海兵隊の総出撃機数、実に43.1%をコルセアだけで占めている。(275,842機中118,891機)。失われた機体、戦闘損失328機、総損失は555機で、これは国連軍、共産軍双方で最大となった。ついで総損失機数第2位は空軍のF-51ムスタングで事故、故障によるものを含め計477機を失った。ミグ15が参戦すると、すぐさまアメリカ軍も最新鋭ジェット機F-86セイバーを投入した。初期のミグ15はF-86に圧倒されたものの、改良型のMiG-15bisが投入されると互角の戦いを見せる。それに対しアメリカ軍も改良型のF-86EやF-86Fを次々に投入し、最終的には圧倒的な優位に立った。なお、北朝鮮軍のMiG-15を操縦していたのは戦争初期にはソ連軍パイロットであったが、後半には中国軍パイロットも参戦するようになり、朝鮮人パイロットもある程度参加したと言われている。しかし、低い練度のまま参戦した北朝鮮軍に対し、十分な訓練を受けたアメリカ空軍のF-86

が最終的に北朝鮮軍のMiG-15 を圧倒した。しかし、アメリカは空戦で76機のF-86セイバーを失った。さらに空戦以外に対空砲火で19機、原因不明で未帰還13機、全部で計108機が戦闘による損



ホーカーシーフューリー

アメリカ空軍のF-80シューティングスターの場合、空戦の損失14機、対空砲火による損失が113機、原因不明の未帰還機16機、計143機が戦闘による損失となる。さらに事故、その他を含めた総損失はセイバーより多い298機を失った。

アメリカ空軍は80万回以上、海軍航空隊は25万回以上の爆撃を行った。その85パーセントは民間施設を目標とした。56万トンの爆弾と3万トンのナパーム弾が投下され、爆弾の総重量は60万トン以上にのぼり、第二次世界大戦で日本に投下された16万トンの3.7倍である。国連軍が中ソの領土を聖域として手を出さなかったように、北鮮も英米の空母群には手を出さなかった。これはにとっては



F86セイバー

重要なことで米空軍機の多くは日本の基地から発進したからである。なお朝鮮戦争は、第二次世界大戦後に実用化されたヘリコプターが、初めて実戦投入された戦争となった。シコルスキーR-5などが配備され、敵の前線背後で撃墜された国連軍の操縦士や、前線で負傷した兵員の搬送に従事し、のちに様々な機種が実戦投入された。

Yak-9M 全幅: 9.74 m、全長: 8.50 m、全高: 3.00 m、通常離陸重量: 3,095 kg

発動機出力: 1,180 馬力、最高速度: 573 km/h、実用航続距離: 950 km

実用飛行上限: 9,500 m、乗員: 1 名、

武装: 20 mm × 1、12.7mm × 1

F51ムスタング、乗員: 1 名、全長: 9.8 m、全幅: 11.3 m、全高: 4.17 m、運用時重量: 4,580 kg

動力: 出力: 1,695 HP (1,240 kW)、最大速度: 703 km/h、航続距離: 2,655 km

上昇限度: 12,770 m、武装: 12.7mm重機関銃M2 × 6、爆弾 1,000lbs(454kg) × 2

ホーカーシーフューリー諸元、乗員: 1 名、全長: 10.6

m、全高: 4.9 m、翼幅: 11.7 m、
離陸重量: 5,670kg、動力: エンジン 1,850 kW、最大速度: 740 km/h、航続距離: 1,127km、
実用上昇限度: 10,900m、武装: 20mm × 4、ロケット弾: ロケット弾 × 12、爆弾: 908 kg

F4Uコルセア、全長 10.30 m、全幅 12.50 m、全高 4.90 m、運用自重 6,300 kg

動力出力 2,100 馬力、最高速度 717 km/h、実用上昇限度 12,649 m

航続距離 2,510 km、武装 20 mm × 4、爆装 127 mm ロケット弾 × 4

F-86 セイバー、全幅: 11.3 m、全長: 11.4 m、全高: 4.5 m、最大離陸重量: 6,300 kg

エンジン推力: 27.1kN、最高速度: 1,105km/h、実用上昇限度: 14,330m
航続距離: 1,026nm、固定武装: 12.7mm ×6、爆弾:最大 900kg、乗員: 1名
Mig-15、全幅: 10.08m、全長: 10.11m、全高: 3.70m、通常重量: 4,960 kg、乗員1名
発動機最大出力: 2,700 kg、最大速度: 1,076km/h、通常航続距離: 1,200km
実用上昇限度: 15,500m、武装: 37mm×1、23mm機関砲×2、100kg/50kg爆弾
資料: ウィキペディア、夕撃旅団一改・Yuhgeki ryodan-kai

4. 日本の後方支援と経済効果

朝鮮は日本からわずか50kmの海峡を挟んでいるだけだ。そのため朝鮮戦争開戦時から日本は位置的に国連軍の最重要国であった。又、日本は第二次世界大戦終結後アメリカやイギリス、オーストラリアや中華民国、ソビエト連邦などを中心とした連合国の占領下にあったので、朝鮮戦争は政治、経済、防衛にも大きな影響を与えた。日本の基地から半島攻撃のために国連軍が出撃し、彼らが必要とする武器弾薬の補給、またそれらの点検修理、製造などを日本の工場で行った。その為に日本が北鮮軍に攻撃される危険性があった。その日本列島は東西南北に長い為、アメリカとしても全てを防衛するには経費が莫大であった。そこでアメリカは急遽日本人自らに日本列島を防衛させることにした。しかし、当時、占領政策として平和憲法を持たせた日本に軍備はなかった。そこでそれまでの占領政策を変更し、日本を早期に独立させるためのサンフランシスコ平和条約締結が急がれ、1951年(旧)日米安全保障条約と共に締結された。さらに警察予備隊(のちの自衛隊)が創設されたことで事実上軍隊が復活した。

戦争勃発直後の1950年(昭和25年)6月に米軍の在日兵站司令部が設けられ、直接調達方式により大量の物資が買い付けられた。占領軍は基本的に免税である。当初調達された物資は、土嚢袋、軍服、軍用毛布、テントなどにおいて使用される繊維製品と、前線での陣地構築に必要とされる鋼管、針金、鉄条網、コンクリート材料、骨材(砂利・砂)など、そして各種食料品と車両修理であった。しかし、朝鮮戦争勃発後に、兵器や砲弾などの生産は1952年(昭和27年)GHQ覚書によって許可された。この特需は第二次世界大戦で産業レベルがどん底であった日本の復興期であり、単純に米軍が日本に落としていった米ドルの力だけではない。車両修理、航空機の定期修理を、第二次世界大戦時代に戦闘機や戦車を生産していた、技術的ノウハウを持っていた三菱重工業や富士重工業に依頼した。その結果、これら関連企業は敗戦によって中断されていた軍事的な最新技術を手に入れたほか、アメリカ式の大量生産技術を学ぶ機会を得ることが出来た。さらに戦前の非効率的な生産方式から脱却し、再び産業立国になる上で重要な技術とノウハウを手に入れただけでなく、多くの雇用と外貨を確保することが出来たと言われている。このことにより経済が急激に回復する一助ともなり、高度経済成長の足掛かりともなった。しかしこの特需で真に潤ったのは一部財界のみで、この当時はまだ特需の利益が労働者にまで還元されてはいなかった。さらに注意すべきは、当時の日本は莫大な占領軍経費を「終戦処理費」として負担しており、初期には一般会計の50%にも及んでいた。1952年(昭和27年)までの占領総経費は47億ドルとも言われ、朝鮮戦争特需の売り上げに相当する額を政府会計から米軍に支払っていた。すなわち、米軍から日本企業への支払いを日本政府が負担したに等しい。朝鮮特需が、神武景気、岩戸景気、オリンピック景気、いざなぎ景気、列島改造ブームなどと次々に起こった好景気の序章となった。この経済成長はアメリカの望むところで駐留米軍の費用を負担してくれるまでの経済大国にする必要があったのである。

他方、吉田茂首相の承認の下、連合軍の指示に従い、1950年10月に海上保安庁は掃海部隊を編成した。戦地での掃海活動は戦争行為であり、事実上第二次世界大戦後の日本にとって初めての参戦となった。

5. マッカーサー・エピソード

ダグラス・マッカーサーは1880年、父の任地であったアーカンソー州リトルロックの兵営内の宿舎で生まれた。父のアーサー・マッカーサー・ジュニア中將は南北戦争の退役軍人で、フィリピンでは初代軍政総督も勤めた人物で、ダグラスは親子二代でフィリピンに縁があった。祖父のアーサー・マッカーサー卿が元々イギリス貴族の移民だったので、フランクリン・ルーズベルトやウィンストン・チャーチルらとは縁戚関係にある。1899年にウェストポイントアメリカ陸軍士官学校にトップ入学し、190

3年アメリカ陸軍士官学校史上抜群の成績で卒業し陸軍少尉となった。卒業後アメリカ陸軍の工兵隊少尉としてフィリピンに配属された。その後父が駐日アメリカ合衆国大使館付き武官となったため、ダグラスも副官として日本の東京で勤務した。1917年アメリカが第一次世界大戦に参戦することが決まった際、マッカーサーはウィルソン大統領に「欧州に送り込む最初の師団は全州の州民から徴募して創設した師団にしたい」と提案し、第42師団「レインボー師団」の参謀長・旅団長に就任した。

同師団は1918年西部戦線に動員され、アメリカ軍で第一次世界大戦の実戦に参加した最初の部隊となった。マッカーサーは雨のような銃弾にもひるまず、戦場において二回負傷し、外国の勲章も含めて15個の勲章を受章した。1930年アメリカ陸軍最年少で参謀総長に就任し大将に昇進した。

1935年フィリピンのケソン大統領の要請でフィリピンの軍事顧問に就任した。当時高等弁務官を兼任して高額の報酬を得ると共にアメリカ資本の在フィリピン企業に投資を行い、多額の利益を得ていた。1937年12月、57才でアメリカ陸軍を退役した。

1941年7月にルーズベルト大統領の要請を受け中将として現役に復帰、フィリピン駐屯のアメリカ極東軍司令官となり対日戦に突入、その後大将に昇進した。ルーズベルトはマッカーサーを嫌っていたが、当時アメリカには東南アジアに詳しく優秀な人材はマッカーサーのみであった。

怒濤の勢いで進軍してくる日本軍に対してマッカーサーは、マニラを放棄してバターン半島とコレヒドール島で籠城する。二ヶ月に渡って日本陸軍を相手に「善戦」していると、アメリカ本国では「英雄」として派手に宣伝され、生まれた男の子に「ダグラス」と名付ける親が続出した。しかし、実際にはアメリカ軍は各地で日本軍に完全に圧倒され、マッカーサー自ら捕虜になりかねない状態であった。

そして1941年コレヒドール島からの脱出を余儀なくされ、「I shall return」と言い残して家族や幕僚達と共に魚雷艇でミンダナオ島に脱出した。ようやく1944年10月になって、マッカーサーはセルヒオ・オスメニャとともにフィリピンのレイテ湾に上陸し、同年12月に元帥に昇進した。1945年8月14日に日本はポツダム宣言の受諾し、マッカーサーは降伏文書の調印に先立つ1945年8月30日に専用機で神奈川県厚木海軍飛行場に到着した。

1945年9月、マッカーサーは昭和天皇を当時宿舎としていた駐日アメリカ大使館公邸に招いて会談を行った。この時マッカーサーは天皇が自らに帰すべきではない責任をも引き受けようとする勇氣と誠実な態度に「骨の髄まで」感動し「日本の最上の紳士」とであると敬服した。この時マッカーサーは昭和天皇を出迎えはしなかったが、昭和天皇の話に感銘を受けたマッカーサーは玄関まで昭和天皇を見送るという当初予定になかった行動を取って好意を表した。後にも「あんな誠実な人間は見たことがない」と発言した。また、東條英機が横浜の野戦病院に入院している際に見舞いに訪れた。

東條は「米国にも立派な武士道がある」と感激したという。

1950年、マッカーサーはアメリカ中央情報局やマッカーサー麾下の諜報機関から、北朝鮮の南進準備の報告が再三なされていたのにも関わらず、「朝鮮半島では軍事行動は発生しない」と信じていた。そのため6月25日、北朝鮮軍侵攻の電話を受け取った際「考えたいから一人にしてくれ」と言い、日本の降伏から5年で、平和が破られたことに衝撃を受けていた。

6月27日にマッカーサーは朝鮮半島でのアメリカ軍の全指揮権を付与され、直ちに軍需物資の緊急輸送とアメリカの民間人救出のための船舶・飛行機の手配を行った。6月28日にはソウルが北朝鮮軍に占領されたことに驚き、6月29日前線視察を行なった。しかしその後も北朝鮮軍の快進撃が続いた。



退任演説のマッカーサー

その結果中華人民共和国の人民志願軍の参戦を招くに至った。1951年に北朝鮮の反抗が本格化し再び戦線を押し戻した。状況打開の為にマッカーサーは中華人民共和国の空爆、さらには同国への

核攻撃の必要性を主張した。もし、マッカーサーの主張が通っていれば、日本の基地が報復爆撃されたであろう。しかしトルーマン大統領は、「核兵器を使用することでソ連を強く刺激し、その結果ソ連の参戦を招きかねない」としてこの意見を退けた。そして中華人民共和国の参戦を招いたことに激怒していたトルーマン大統領は1951年4月11日にマッカーサーを更迭した。この時マッカーサーは夫人に「ジーン、これで帰れるよ」と言ったと伝えられる。

4月16日マッカーサーは離日のため東京国際空港へ向かったが、その見送りに20万人の日本人が詰め掛けた。1951年4月19日、ワシントンの上下院の合同会議に出席したマッカーサーは、退任に際しての演説を行った時、演説の最後に「老兵は死なず、ただ消え去るのみ (Old soldiers never die; they just fade away)」と述べ有名になった。この後議場から出て市内をパレードすると、ワシントン建設以来の50万人の市民が集まり、歓声と拍手を送った。翌日にはニューヨーク市のマンハッタンをパレードし、アイゼンハワー凱旋の4倍、約700万人が集まって彼を祝福した。しかし、彼は1952年に再び大統領選出馬を画策するが、すでに高齢で支持を得られず断念した。1964年4月3日に危篤となり4月5日84歳で死去した。資料:ウイキペディア

ヒコーキの話・アレコレ

1. 発売中・スピットファイアの組立てキット (2500万円、飛ばす。2007年7月)

スピットファイアは第二次世界大戦当時、イギリスとドイツがドーバー海峡をはさんで激しい航空戦を繰り広げた「バトル・オブ・ブリテン」において、ハリケーン戦闘機同様にイギリス航空隊のシンボルとして大活躍し、イギリスを守った立役者として知られている。それだけに、イギリス人にとって愛すべき対象となる機体でもある。スピットファイアイメージ【Daily Mail】によると、この「組み立てセット」は本物の機体の90%ほどの大きさだが、当然ながら空を飛ぶことが出来る。値段は1機10万ポンド(約2500万円)。収納用として車2台分ほどのガレージも必要。主要部品はアルミニウム製(これも実機と同じ)で、組み立てるまでに1200時間とさらに3万ポンド(750万円)ほどの経費を必要とする。



エンジン

エンジンはGMのV6で出力222mph、時速360キロで空を舞い、5500メートルの高度まで上がれるという。組み立てセットはすでに700時間工程分が組み立てられてられ、主要部品が形成されている状態で顧客に提供される。しかし部品をすべて組み立てて完成させるまでに、さらに2年ほどもかかる。なおこのスピットファイアモデル、すでにイギリス国内だけで22機分が販売されている。なお元記事

では購入元がどこかは記載されていないが、どうやら【Supermarine Aircraft】(オーストラリアの会社)が正解のようだ。スピットファイアが好きな飛行機野郎は全世界にいるようである。当然ながら武装は一切されていない。資料:他愛もない情報(GarbageNews)を様々な視点で伝えるサイト。

2. 地中にスピットファイア36機…ミャンマー

第2次世界大戦終戦前後に地中に埋めたとされるスピットファイア36機が、ミャンマーの最大都市ヤンゴンの地中に眠ることを地元地質学者(64才)らが67年ぶりに突き止めた。学者らは回収が実現すればスピットファイアを英国に返還したい考えだ。ミャンマーは太平洋戦争時は日本軍の勢力圏だったが、1945年に英国など連合軍が侵攻した。英軍はこの時、スピットファイアをヤンゴンの戦闘に使用したが、同年8月の終戦とともにスピットファイアが反英勢力の手に渡るのを防ぐためヤンゴンの基地地中に埋めたとされる。歴史好きの英国人デビット・カンドルさん(63才)が埋設に関わったという英国の退役軍人からこの話を聞き、89年にヤンゴンのダゴン大学教授の地質学者に協力を求め埋蔵場所の探索を開始した。当時の英軍基地は今もミャンマー軍の基地となっていた。そこで軍の許可を得て「基地のそばの集落の東側」「滑走路の近く」などの断片情報をもとに位置を推定して磁気で探査した。英リーズ大学の協力も得て、今年2月ついにスピットファイアが埋まっている場所を

特定し36機を確認した。地質学者らは4月にミャンマー政府に発掘許可を申請、キャメロン英首相も同月ミャンマーを訪問した際にテイン・セイン大統領に協力を求めた。地質学者は許可がまだ出ていないので、匿名で読売新聞の取材に応じ「発掘が実現すれば英国に返還したい。博物館などで展示してもらいたい」と話した。(2012年7月21日 読売新聞)

3. 人力ヘリコプター「ガメラ2号」、50秒の滞空に成功！ 2012.6.25 12:26

航空技術で残っている目標達成に一步近づいた。アメリカ・メリーランド大学のチームが6月21日に人力ヘリコプターを約50秒間飛行させた。その目標とは米国ヘリコプター協会(AHS)による「イーゴリ・I・シコールスキイ人力ヘリコプター・コンペティション」で賞金 250,000 ドルがかけられている。

1994年に日本大学チームが達成した19秒という記録を大幅に上回る偉業を、動画等で紹介している。目標達成の条件として、①人力のヘリコプターが離陸し60秒間以上ホヴァリングすること、②飛行中に高度3mに到達すること、③その際10平方mの範囲にとどまる必要がある。これまで人力ヘリコプターを飛行させたチームは、メリーランド大学を含めて世界で3つしかない。メリーランド大学チームは昨年夏に「Gamera」号で11秒滞空した。今年作成された「Gamera II」号は機体全体の幅が約32mで、4個あるプロペラ直径は約3m。この大きさと重量は32kgほど。2011年の先代より14kg以上も軽くなったのはローターの再設計とトラスの設計改良による。カーボンファイバーのロッドと糸で作られた小さなトラスを組んで大トラスを形成しそれをコックピットから4本伸ばして、その先にローターが地面すれすれに取り付けられている。ローターを地面の近くに置くことで、ローターによる浮揚で生じる誘導抗力を減少し地面効果を活用できる。地上から約60cmでホヴァリングするために必要なローターの回転数は毎分20回転にすぎず、1馬力も必要ない。オリジナルのGameraと違いGamera IIでは、足のペダルと手回しクランクも動力に使われている。足だけの場合に対し、腕を用いることで力が約20%アップすると開発チームは計算している。注:表面効果を利用では高度3mはムリ(平尾)。

4. 東京女子大「飛ん女の会」・鳥人間コンテストの書類審査に合格！！ (以下公式ブログより)

① どうか東京女子大学飛ん女の会をよろしくお願ひします。飛ん女の会のブログ担当に就任されました♪、正確には、勝手に就任しました(笑)ソフィーです。ちなみに、飛ん女の会の正規メンバーではありません。メンバーの皆さんは作業に忙しい様でして、みんなが作業してたら作業中の写真撮れませんしね。ということで、非正規メンバーである私が更新を担当させていただきたいと思ひます。

タイトル下にも書いてある通り、読売テレビさん主催2012年度鳥人間コンテスト滑空機部門に出場させていただくことになりました。なんと創部(?)は昨年(2011年)の12月です！そして東京女子大学(通称:東女)に工学系の学部はありません(汗) 数理科学科(主に数学専攻)で構成されています。

そんな感じで毎日を模索しながら活動中ですキラキラ、そして自分達の記録と広報とか諸々兼ねて公式ブログ始めてみました\(^o^)/、

パイロットがブログ担当ですが、文章下手くそだし面白くないし続かないので先行き不安です...

どうか応援メッセージ、鳥人間に関する情報などなど、たくさんコメント待ってますドキドキ、頑張ってお返事しますよ！ とりあえず初回なのでこんな感じでしょうか...

② 今日は、何をやったのかな...(えっ笑) 今日は、飛ん女Tシャツを作成すべくオリジナルTシャツを作ってくださいのお店に行ったようです。しかし、何枚作るかはまだ検討中—— 私としては一枚当たりいくらくらいになるのかが気になるところです。枚数多い方が安いとかやはりあるのでしょうか。

公式ブログなのにこんな曖昧ではちょっと嫌ですね(苦笑) そして、写真がなくてごめんなさい(涙)、あと一ヶ月あまりですが書かないよりは良いだろう、と信じて頑張ってます。

追記:F1B小池さんの大阪工業大学も書類審査に合格！！

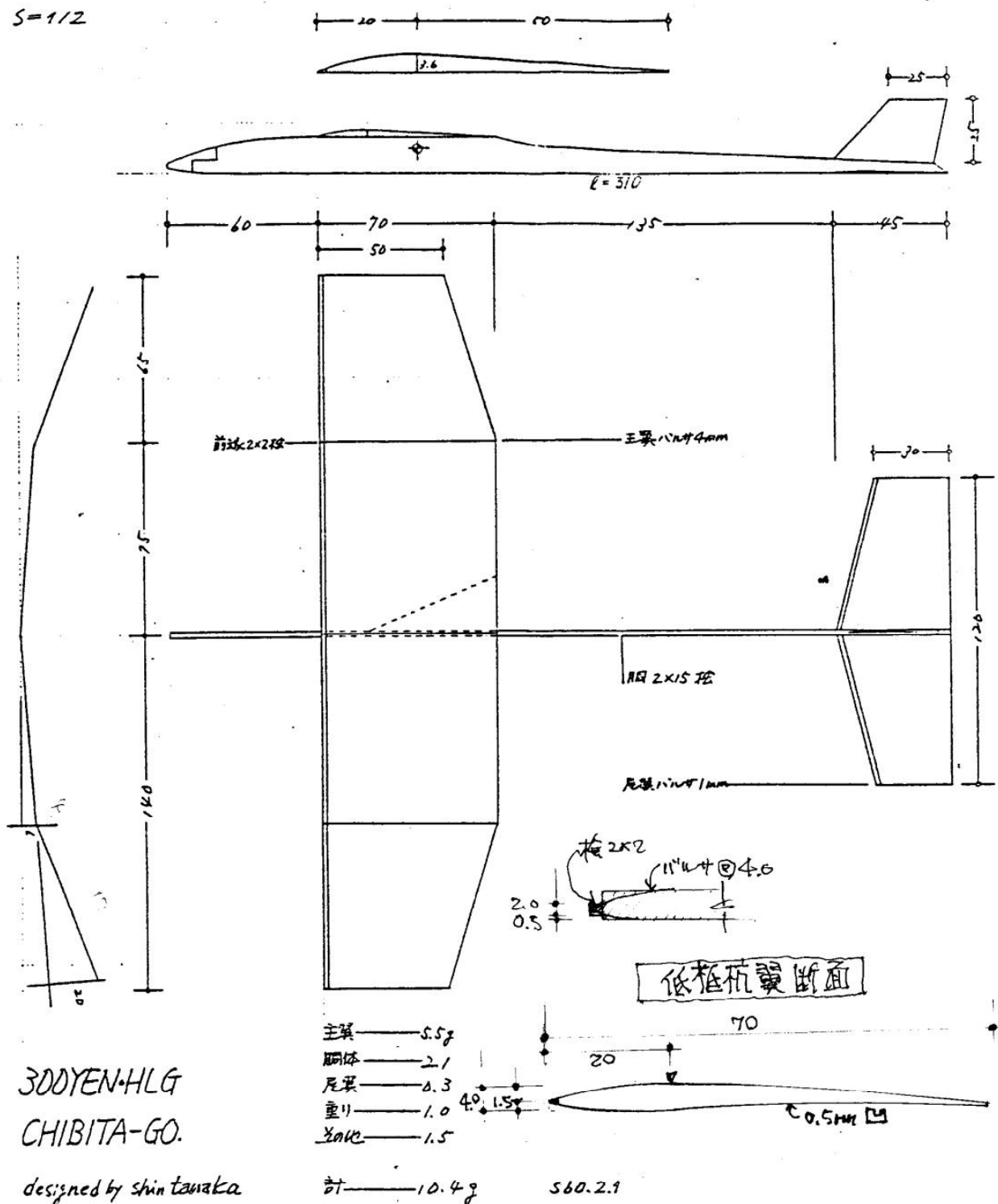


5. 足のはえた紙飛行機

◇紙飛行機に脚がはえている、というだけなんです、なんでしょうこの脱力感のあるルックス。かわいいというか、ちょっとキモいというか……。とホームページに書いた人がいるが...

足のはえた紙飛行機の折り方がUチューブで発表されている。写真の如くだが、妙に気持ち悪いのがイイ。変なことを考え

る人がいるもんですね。この紙飛行機カタチだけではなく、キチンと飛ぶらしい。折り方は意外と簡単ですので、ぜひお試しください。まずB5かA4の長方形の紙を準備します。そして紙の上の部分を正方形におり、その部分を鶴を折るように折って行って足を作ります。但し、重りの部分が足になってしまうので、多分重りが必要でしょう。割合簡単に「キモイ紙飛行機」が出来上がるので、興味のある人はインターネットで調べて、作って、飛ばしてください。これの記録会は如何でしょうか。



300YEN+HLG
CHIBITA-GO.
designed by shin tanaka